小学校５年　社会　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
＋10％ より高い	2	1	2	5
±10％ の範囲内	5	5	4	１４
－10％ より低い	0	1	0	1
計	7	7	6	２０

（２）考察

①　全体について

ア　全体の70%の問題が設定通過率の「±10%の範囲内」、全体の25%が「＋10%より高い」で、学習状況はおおむね良好である。

②　成果

ア　地図帳を活用して、必要な情報を収集する技能が高まっている。

イ　複数の資料を比較・関連させて考える力が身に付いてきている。

③　課題

ア　地図上での方角や距離についての知識・理解が十分とは言えない。

イ　グラフの変化の様子や傾向を適切に読み取る力が不十分である。

（３）今後の指導

ア　グラフの変化の様子や傾向を適切に読み取り、変化や傾向の原因について予想したり追究したりできる力を高めるために、グラフの読み取りの段階的な指導をする。

○ポイント［(14を例として］

グラフの読み取りの段階的な指導

○具体例

①基本的な情報の読み取り

・資料名、縦軸・横軸が表すもの、単位、出典等の基本的な情報を確認する。

②変化や傾向の読み取り

・大まかな変化の様子を読み取らせる。
　→増えたか、減ったか

・時期ごとの傾向を読み取らせる。
　→例：豊漁期、減少期、激減期、禁漁期、回復期等

③変化の原因等の予想や追究

・変化の原因や背景について予想する。

・予想に基づいて調査活動をする。

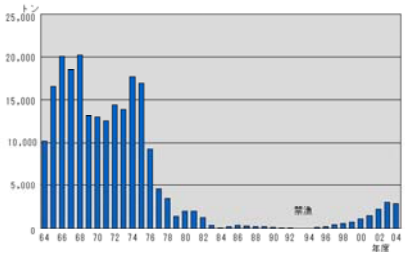
・事実を根拠に変化の原因を説明する。

・全体で共有化し、まとめる。

※将来の変化を予想する。

何を表しているグラフなのか？

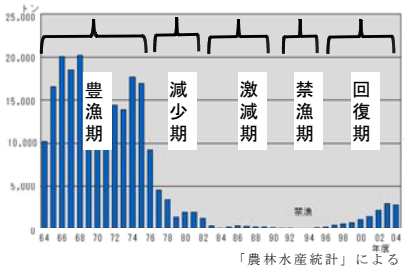
資料　秋田産ハタハタの漁（ぎょ）かく量の変化



「農林水産統計」による

何がどう変化しているのか？

資料　秋田産ハタハタの漁（ぎょ）かく量の変化



「農林水産統計」による

このように変化したのはなぜか？

これから先、どう変化するのか？

・軸の一目盛りの値によって見た目の変化が違ってくることに留意する。

・指でなぞらせるなどして、変化の様子を全員に確実に読み取らせる。

・時期ごとに変化の傾向が表れている場合は、その時期を比較させたり関連させたりしながら、原因等について考えさせる。

・既習内容を活用して、変化の原因等について予想する活動や調査して分かった事実を基に考えたことを説明する活動を重視する。

・まとめる際には、キーワードを意識して短い文章で記述させるなどの活動が大切である。